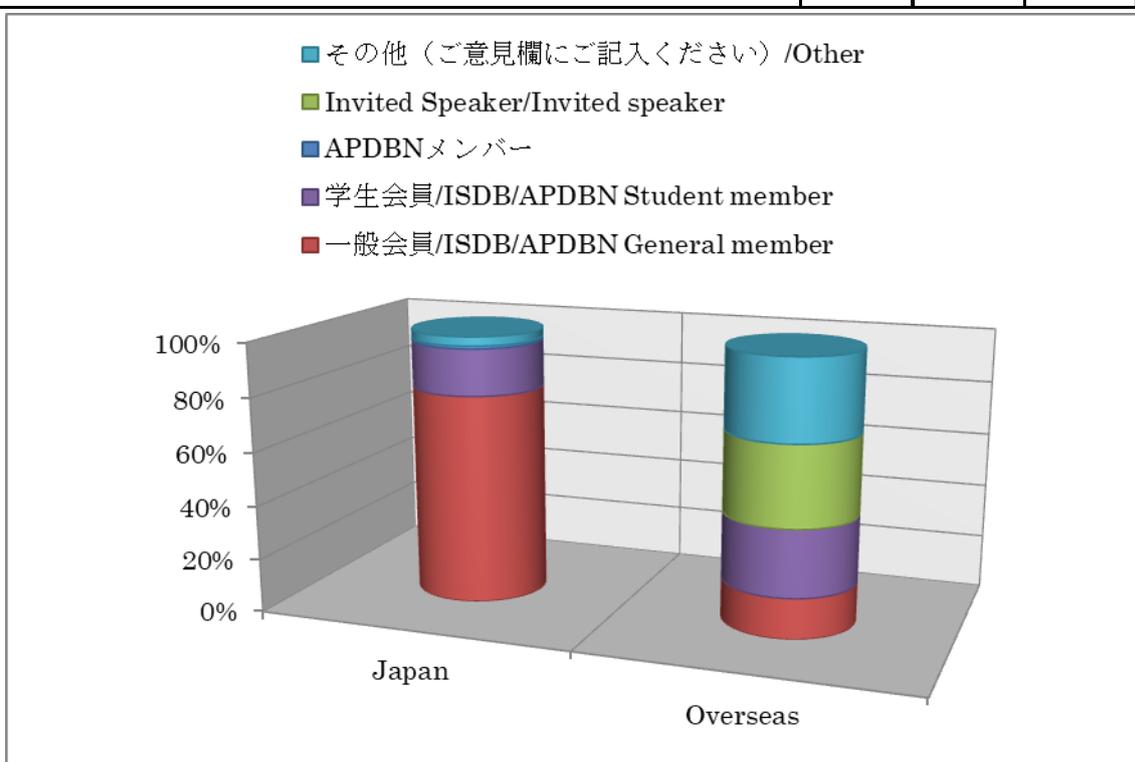


52nd annual meeting for the Japanese society of developmental biologists (cosponsor: the Asia-Pacific Developmental Biology Network) アンケート結果

回答数：日本語 92 / 英語 20

Q1. 回答者の属性

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	一般会員/ISDB/APDBN General member	72	78.3	3	15
2	学生会員/ISDB/APDBN Student member	16	17.4	5	25
3	APDBN メンバー	1	1.1		
4	Invited Speaker/Invited speaker	0	0	6	30
5	その他（ご意見欄にご記入ください）/Other	3	3.3	6	30

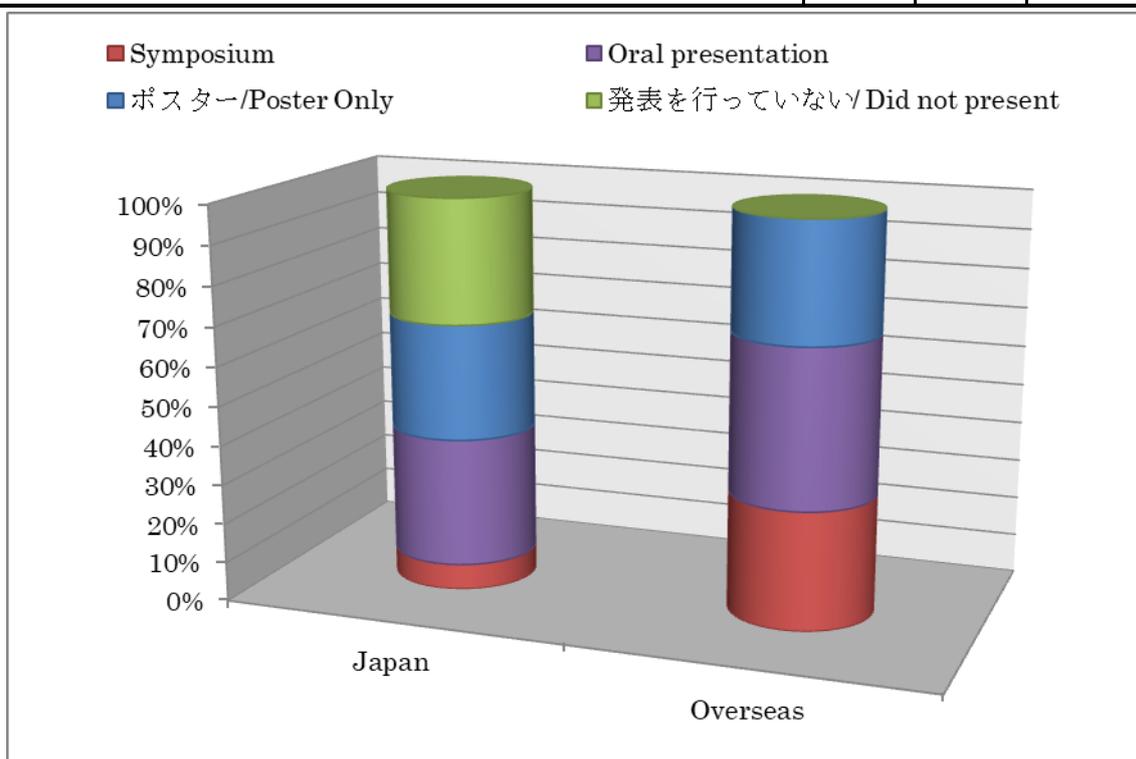


ご意見

1. 非会員
2. 当日参加

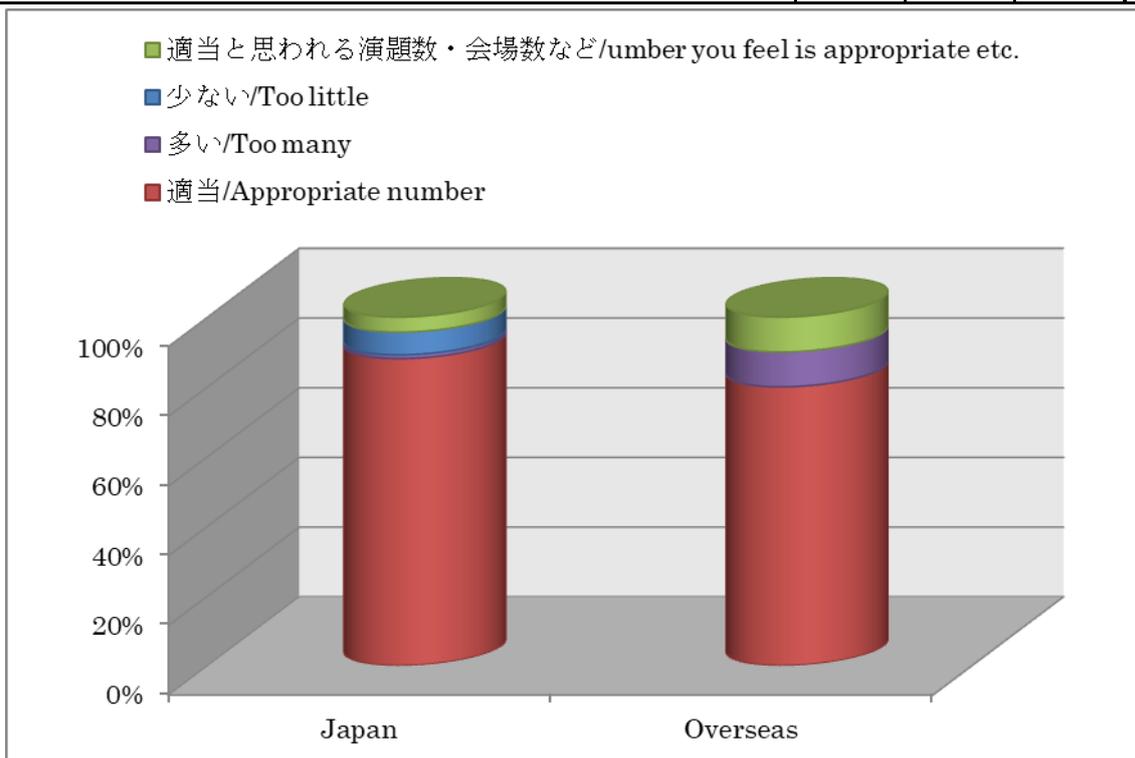
Q2.あなたはどれで発表をされましたか？

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	Symposium	6	6.5	6	30
2	Oral presentation	30	32.6	8	40
3	ポスター/Poster Only	27	29.3	6	30
4	発表を行っていない / Did not present	29	31.5	0	0



Q3.本大会ではシンポジウム / Oral Presentation を行いました。その数についてお聞きします。

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	適当/Appropriate number	81	88	16	80
2	多い/Too many	1	1.1	2	10
3	少ない/Too little	6	6.5	0	0
4	その他(適当と思われる演題数・会場数など、ご意見欄にご記入ください) /Other : Please comment (Number you feel is appropriate etc.)	4	4.3	2	10



ご意見

- 3 会場で行うのはよかったです、もう少し会場の広さを同じくらいにしてほしかった。
- Symposium のトークが重なりすぎていると思います。せっかく海外から研究者が来ていただいているのに、重なっていて見れなかったというのはもったいないと思います。並行する Symposium の数は 1 個か 2 個にしてみてもいいのではないでしょうか。
- 単日のみの参加でした
- oral、シンポジウムともに、2 時間半あまり一切休みなしで続けるのは聞く側も辛いと思う。一つでも多くの口演を入れたい意図はわかるが、5-10 分でも良いので、小休止を挟む方がよいと思います。このやり方には、もう一つ弊害があります。印象に残る発表の場合、のちほど演者に直接話をしに行く場合がよくあります(実験のポイントを教えてもらったり、共同研究になったりすることも多く、学会に参加することの意義のひとつです。)。ところが 10 以上の演題が続く今の形だと、セッションの最初の頃の発表の演者が、発表を終えた後に退出してしまい話しにくくなってしまいます。学会は単なる成果発表の場ではなく(それも大事ですが、成果を知りたいなら論文を読めばいいのです)、研究者

どうしのコミュニケーションの機会だと思います。口頭発表の数を増やすこととの兼ね合いでいろいろ難しいのはわかるのですが、小休止をとらないのは発牛学会だけの特徴（良くも悪くも）ともいえるので、この問題については改善を望みます。

5. シンポジウムの数はやや多すぎた。口頭発表は 3 会場で妥当でした。
6. 昨年より減った気がする。大学の教員が大学業務（入試や改革など）でいそがしく、学生ほったらかしで帰ったり、こなかったり、1 日だけだったり、疲れていたり、このことは目に見えてしまっていて、大学院生も感じているようで、良くない傾向だとおもった。
7. 数自体はどちらも
8. 3 セッション同時進行のシンポジウムで興味深い話題が平行していて聞けないものが多かったことが残念だ。二会場にしても良いのではないか？
9. 一般口頭発表のセッションを増やすことは、ポストクや大学院生の口頭発表の機会を増やす意味でよかったと思います。その枠で、軒並み PI が発表しては意味がないのですが。
10. シンポジウムではかなり古い話を中心にされている方もいて、いかがなものかと思いました。シンポジウムという形でテーマを区切ることで古い話を無理にしてもらうのではなく、新しい良い仕事をしている方に広く長い時間で発表する機会を与えた方が良いと思います。
11. 3 日目に Symposium を聞くことになり、学会の疲れが蓄積している中で集中して聞きづらかった。
12. 聞きたいシンポジウムが並行して行われており、聞けないものが多数あった。やはりシンポジウムは分散して 3 日間で行って欲しい。まとまった内容の発表や挑戦的なものをあつたので全部聞きたいので分散させて欲しい。シンポジウムを最終日に持って来た理由は最終日に帰る人がいるためであったが、初日の人の数が逆に少なかったと思うので、人数を呼び込むためにも分散してほしい。
13. The quality and amount of the oral presentations was very good. However, it was difficult to select between sections. It was quite useful that some of the speakers had posters as well.
14. I would prefer 20min talk instead of 15min. I think 7-8 talks per section would be a nice number.
15. Not enough coffee breaks in between talks

Q4.シンポジウムについてお聞きします。特に内容が優れていたと思われたものがあれば挙げてください。

回答者入力

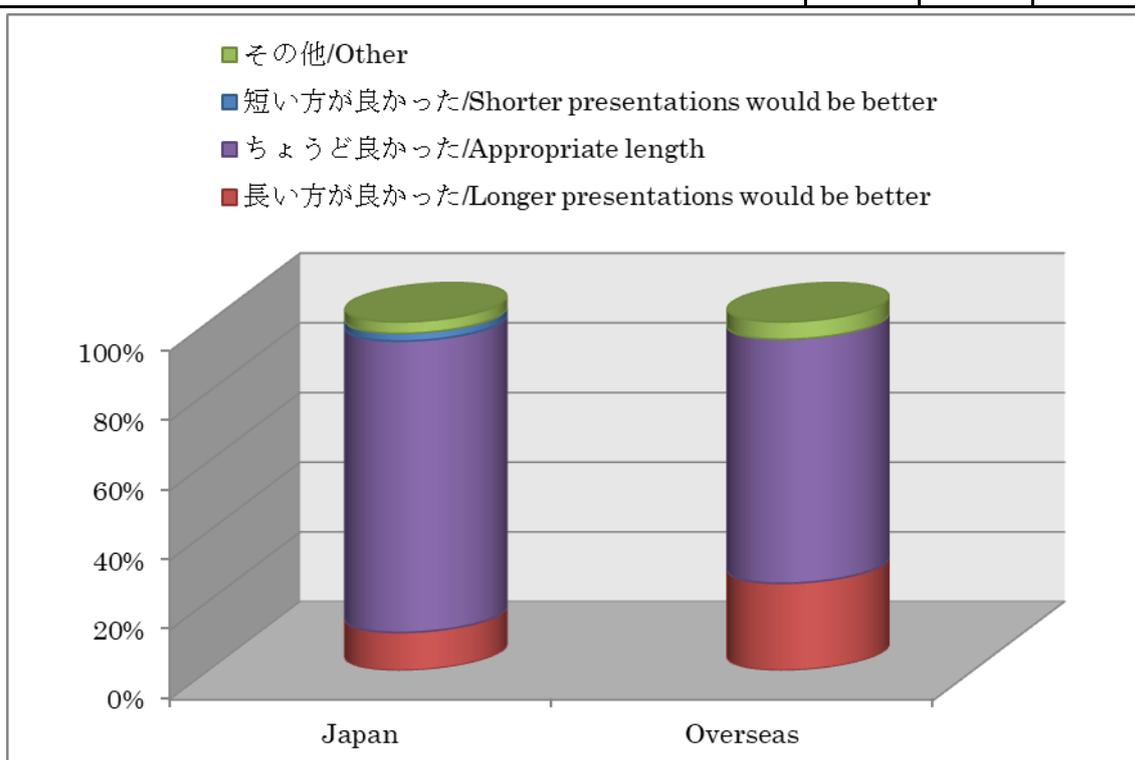
1. Towards understanding multicellular systems in development— Measurement and Modeling
2. 日程の都合で不参加
3. 特になし
4. Symposium 5 様々な見方からのアプローチで楽しめた。発表者それぞれがわかりやすい構成でプレゼンを作っていて良かったです。
5. 最終日にシンポをまとめるのは悪くない印象を持ちました。
6. Enhancer function explaining morphological diversity Web 上で質問を集め、座長が代理で質問するシステムを導入することで、空白の時間が少なく、議論が活発になった。システムそのものはまだまだ改善の余地があると思う。
7. Symposium 03、APDBN Symposium。1,2 演題聞きたいのがあって、ずっといたのですが、レベルの高さに驚きました。いいメンバーを集めた后感心しました。残念なのは、日本人、とくに学生が全然いなかったことです。若手はうちわの話しか聞かない傾向があるのだろうなと思いました。
8. Symposium 5: cell and tissue mechanics of organogenesis
9. APDBN symposium
10. symposium5: Cell and tissue mechanics of organogenesis
11. S1, オリジナリティーの高い話が多かったように思う。
12. APDBN 人が最終日ですくなく、内容がよかったので残念でした。
13. Enhancer function explaining morphological diversity
14. 参加できませんでした
15. Towards understanding multicellular systems in development— Measurement and Modeling
16. Symposium 05 聞いた Symposium のどれも良かったと思いましたが、そのなかでも良かった印象があります。
17. 午前中の A 会場。
18. Cell and tissue mechanics of organogenesis.
19. Topics in Plant and Animal Development 意欲的なシンポジウムと期待して出席しましたが、趣旨にピッタリの発表者が限られてしまったのは残念です。やむを得ない事情もあるのでしょうか。でもハマった方の発表には大変感銘しました。一方で、持ち時間を守らないシニアの方は二度とおよびしない方が良いでしょう。
20. symposium 4: enhancer function explaining morphological diversity
21. Topics in Plant and Animal Development 植物の人も魅力的な talk をしていました。
22. Timothy SAUNDERS
23. Plenary Lecture
24. シンポジウムが最終日に集中しており、最終日にはいられなかったので、1 つも聞けませんでした。せめて2日することはできないでしょうか。
25. Live imaging of transcriptional enhancer (エンハンサーによる転写制御のライブイメージング) コメント: 具体性があり、かつ、口頭による説明が聞き取りやすく分かり易かった点がよかった。また、証明手段についても実験内容が画期的であった点が優れていたと感じた。

26. エンハンサーのシンポジウム；萌芽的、挑戦的で良かった。これらかは挑戦的で敷居の低いシンポジウムを、萌芽的シンポジウムと題して若手にやらしてもらえるようにしてほしい。まとまった内容の教育的シンポジウムと萌芽的シンポジウムの半々で良いのではないか？ また無理矢理他国の学会との合同のシンポジウムを開かなくて良いと思う。ねらいが良く分かりません。
27. Symposium 01: Towards understanding multicellular systems in development- measurement and modeling
Comments:
It's good to have a session showing how incorporation of theoretical modeling and experimental analyses can help us to understand complex biological phenomena in animal/plant development.
28. Plant and Animal Development
29. Topics in Animal and Plant Biology
30. Topics in Plant and Animal Development
31. I liked symposium 2, Topics in Plant and Animal Development.
I also enjoyed symposium 05, Cell and Tissue Mechanics.
I would have liked to attend more symposia, but the timing was such that one had to chose.
32. S4
33. Plenary Lectures
34. Topics in Plant and Animal Development
35. Cell and tissue mechanics of organogenesis
36. Mechanics in morphogenesis. The range of topics was well suited and appropriately highlighted local and international approaches.

Q5. 口頭発表 / Oral Presentation についてお聞きします。

発表時間について

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	長い方が良かった(10+4, 12+3, その他)/Longer presentations would be better (10+4, 12+3, etc.)	10	10.9	5	25
2	ちょうど良かった/Appropriate length	77	83.7	14	70
3	短い方が良かった(7+3, 6+2,その他)/Shorter presentations would be better (7+3, 6+2, etc.)	2	2.2	0	0
4	その他(ご意見欄にご記入ください) /Other: Please comment	3	3.3	1	5



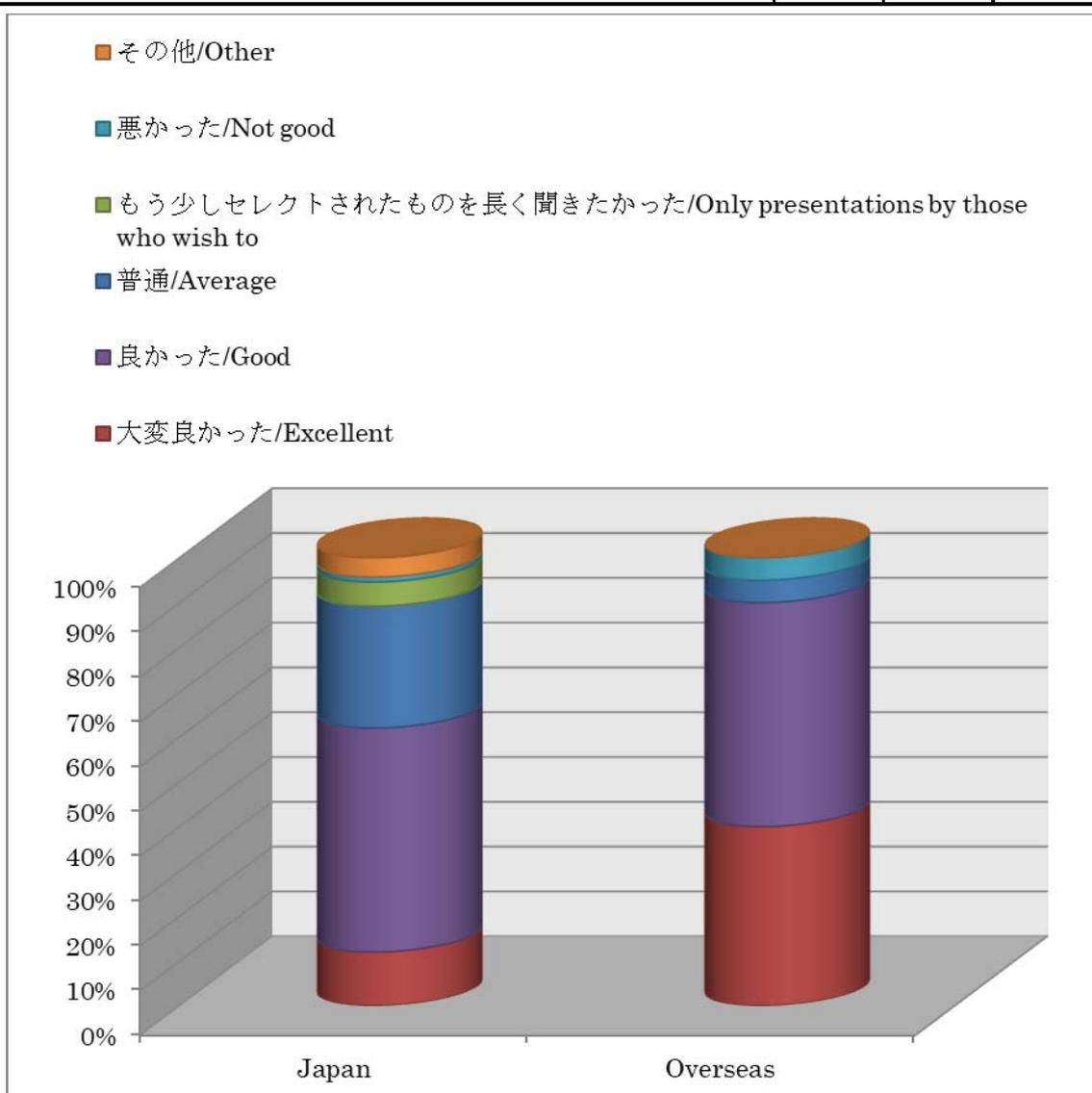
ご意見

- 12分発表3分質疑応答は良かったと思います。10+2分では短い。
- 発表時間が長いと冗長的になりがちなので、質疑応答込みで15分ぐらいの発表なら研究の要点が詰まっているし、多くの話を聞けるので良い。
- Room Aは全般に質問しづらい部屋の作りがあったような気がする。
- 10年前～5年前ぐらいまではぜったい英語で、英語以外つかうな！という雰囲気だったが、座長が日本語でも議論をお願いする、こちらで通訳するので、などと英語でいうなど、変わってきた。自国語で話さない分野がちょっと違うと質疑応答は難しいと指摘されているが、昨年よりよく議論できていたとおもう。そういういみで座長のなにげない一言は大きい。
- ポスターがある人の発表はちょうど良いくらいだが、ない人の発表はもう少し発表時間があっても良かったように思う。

6. あまり聞けなかった。
7. 演題数を確保する意味でも、これ以上は長くできないでしょう。今回の持ち時間が短いという人は、驚沢だと思えます。
8. 15+2
9. 完成度の高い研究(あるいはインパクトの大きい重要な研究)は長く、完成度の低い研究は短い時間、という様に、時間を分けても良いのではないか?
10. 少し発表時間が長い方が良かった。
11. 今回司会者が時間をオーバーしても質問の時間を取ってくれて、10分くらいおしていた。これで良いと思う。次のセッションまで時間があつたので、今後も司会者にある程度質問をどんどん受け付ける様に伝えるべき。
12. Allotted time was appropriate (12+3), but chairpersons and speakers alike needed to work a lot harder to keep to time. People went over constantly and chairpersons let them. The schedules got way off and it made it extremely difficult to go to talks between different rooms. It is of utmost importance to keep to schedule when multiple talks are going.
13. In most cases, the presentations were well prepared and the timing was good. In some cases, a bit more time would have been helpful. I think 12 +3 would seem best.
14. Organizers may consider planning timetable with some buffer time for the delayed presentations/longer Q&A session.

口頭発表について

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	大変良かった/Excellent	11	12	8	40
2	良かった/Good	46	50	10	50
3	普通/Average	25	27.2	1	5
4	もう少しセレクトされたものを長く聞きたかった/Only presentations by those who wish to	5	5.4	0	0
5	悪かった/Not good	1	1.1	1	5
6	その他(ご意見欄にご記入ください)/Other: Please comment	4	4.3	0	0



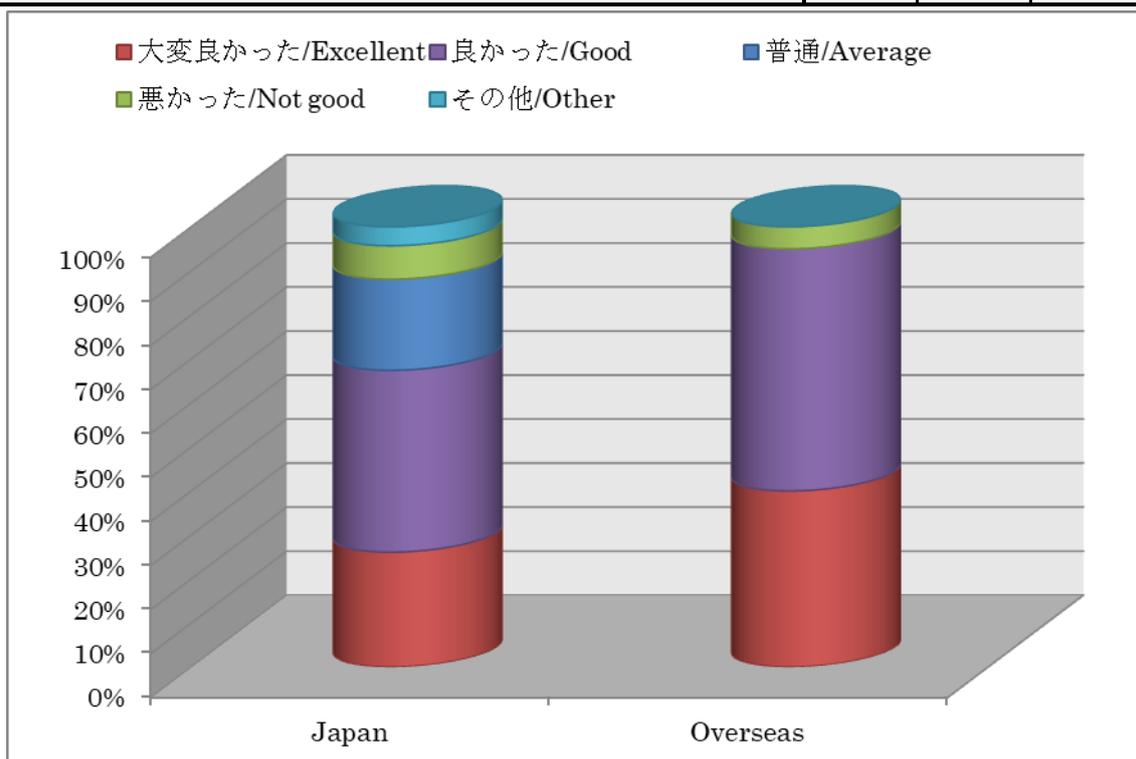
ご意見

1. オーラルで発表の人のほとんどがポスターでも発表と負担はありますが、直接ディスカッションの機会になって発表が充実したと思います。

2. もっと多くして欲しい
3. セッションあたりの演題数が多すぎた。
4. 口演数はいいと思うが、同じラボから何題もできるなどバラエティーのなさにちょっと飽きた。
5. 単日のみの参加でした
6. day0 のサテライトに、ポスターに回るはずであった口演を回していただいた配慮はとても良かったと思います。活発な議論があり、非常に盛り上がりました。
7. 様々な年代、国籍の人が混ざって発表しているのが非常に良かった。
8. 長くする必要はないと思う。セレクトされたものとする、同じ研究室のばかりになりそうなので、ちょうどいいとおもう。
9. 2 時間以上セッションがあるときは途中で休憩をいれてほしいです。
10. 一般口頭発表の最後のスライドで、同僚への謝辞やグラントへの謝辞を載せている演者が多くいたが、1 2 分の一般演題でここまでフォーマルにする必要はないと思う。こういう過剰な答礼は省いて discussion の時間を確保するように主催者側がアナウンスしてはどうでしょうか？
11. 十分な口演希望者数がいなかったためなのか、一部のセッションはテーマがまぜこぜになっていた印象で、聞く側としては少し困った。全体としてみた場合は、適切な口演数だったと思います。
12. 内容を吟味して選択した方が良くと思う。
13. 口演数の単位をもう少し小さくして、いろいろな人に座長をしてもらったほうが良いのではないのでしょうか。若手研究者の励みにもなると思います。
14. ちょうど良かった。
15. 0 日目の発表が一番面白かった。
16. It would be better to have a few presentations less and some coffee breaks in between, which would have allowed more networking among the scientists.

Q6.ポスターの配置、時間は、いかがでしたか？

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	大変良かった/Excellent	24	26.1	8	40
2	良かった/Good	38	41.3	11	55
3	普通/Average	19	20.7	0	0
4	悪かった/Not good	7	7.6	1	5
5	その他（ご意見欄にご記入ください）/Other: Please comment	4	4.3	0	0



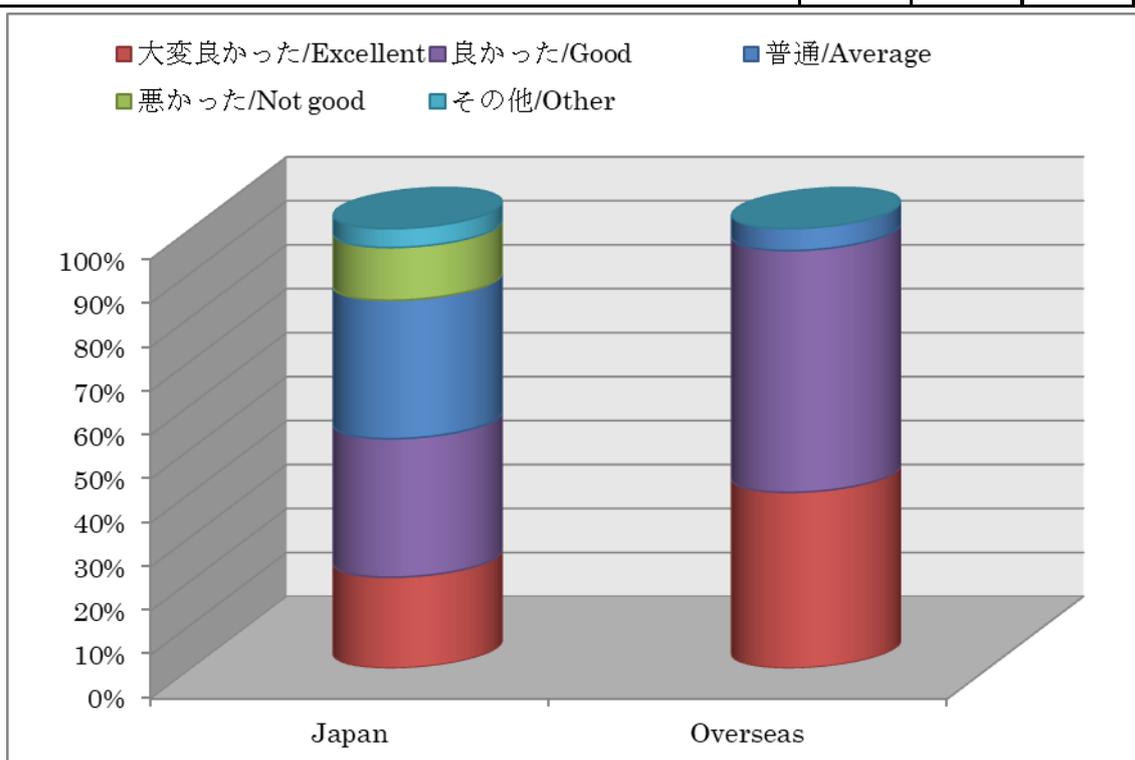
ご意見

1. うまい調整は思いつきませんが、ポスター発表で偶数番の人は偶数番の人のポスターの説明を聞けないことが残念でした。
2. 通路が狭く、立ち見をしていると通行人の邪魔になってしまうと感じた
3. コアタイムが長すぎる
4. プロフェッサーズなんかはいらない。
5. 吹き抜けて開放感があったのは良かったです。卓越教授（誰が選考したのか???)の発表はいらないのでは。
6. 2日間展示されていたので、十分見れた。教授ポスターストリートが良かった。
7. 発表時間がはっきりしていて、交代制なので良かった。
8. 仕事の都合で発表日当日しか行くことができず、全期間ポスターを展示するのは無理がありました。1日目は到着できず、最終日は知り合いに持って帰ってもらいました。
9. 2日間同じポスターで少々疲れた。知り合いに挨拶に行くようなものだった。。

10. 狭かった。よくあるのが隣り合う者同士で場所を取り合う光景。だいたい、元気そうな男性が静かそうな女性の場所を奪い取っている。中身とは無関係。
11. ある程度通路が広がったのはよかった。
12. 発表数が少なく感じました、特に学生の発表が少ない様に思いました。実際に人が少なくなっていることはあるのですが、下にも書いた様に英語化が若い人たちの参加障壁となっている様な気がします。
13. 口頭発表の会場の間にあることは良かった。
14. ポスターは、真ん中にちょっとすわって話せるように配置したほうが議論がかっぱつになっていい。パソコンもひろげられるといい。会場を2つにわけてもよかった。2Fの廊下あいていた。そこにもあれば、2Fから1Fみわたせるし、良かったかなと思う。
15. ポスター会場に人が少なく、風通しが良かった。人混みを避けながらポスター前にたどり着き、汗だくになりながら議論したところが懐かしい。
16. Professor street を十分に聞きたかったので、ポスターとは別の時間帯にさせていただきたかった。
17. ポスター発表の時間が多く確保されていたため議論が十分にできたため、よかった。
18. ポスター会場に人が混雑していたときには、とても暑かった。また紐で仕切られており、その紐をまたがないと移動が難しかったのですが、仕切り(?)の紐の必要性がわからなかった。
19. 貼りっぱなしにしたのは大変よかったです。
20. 発表が二日間、二回は労力的に辛かった。
21. 2日間ポスター発表をするのは体力的に持たなかった。
22. もう少し長めに時間を取ってもよかったと思う。興味ある演題に関して、discussionを含めると、discussionできる演題数に限りが出たため。
23. 時間が十分に取ってあって、余裕をもって見ることができた。休憩しながら見ることができたのでよかった。
24. 時間が短いのと、聞きたいところに人がいないことが多かった。偶数、奇数の2分割ではなく、4分割ほどにしてほしい。
25. 会場が狭かった。また周りに座る場所が欲しいです。ポスターボードが小さかったのでB0サイズのポスターボード板にしてほしい。発表はA0でもかまわないとしてほしい。海外の学会のように間隔をもう少し広げて欲しい。
26. I liked that the posters were all together and one could easily go from one to the next. I also liked that there were two opportunities to see the posters (rather than showing only half on one day and the other half on the next day)
27. Both poster sessions were split in odd and even numbers, thus it was impossible to see posters presented in the same group. It would be better to split the two sessions by different criteria, eg. one session odd/even and the other left/right.
28. Spacing between posters was appropriate and not too crowded. Having them in one contained space was useful.

Q7.英語での発表については、いかがでしたか？

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	大変良かった/Excellent	19	20.7	8	40
2	良かった/Good	29	31.5	11	55
3	普通/Average	29	31.5	1	5
4	悪かった/Not good	11	12	0	0
5	その他（ご意見欄にご記入ください）/Other: Please comment	4	4.3	0	0



ご意見

1. 質疑応答で英語のため上手く往かない場合はチェアが日本語でもと助言する、英訳して日本語でしか分からない人にも説明など、柔軟な対応があったのはとても良かったと思いました。
2. サテライトワークショップと比較して、明らかに質問数が少なく、専門外の人が置き去りにされていると感じた。教授クラスの先生の発表に対して、質問者がおらず、座長が質問しなくてはならない自体になってしまうことは大きな問題だと思う。発生物学会の国際化を図るのなら、英語でやるべきだと思うが、学会自体を盛り上げるためには日本語でのトークする機会が重要であると感じた。隔年で日本語と英語で分けたり、年に日本語と英語の2回行ったりするのはどうでしょうか。
3. 英語化の流れや意気込みは理解できるが、やはり質問が出なく、学会での議論という本質から離れてしまっている。若い学生が質問しにくい雰囲気がある。
4. 英語発表の質がは講演者による差が大きくなってきており、全体としては低下傾向にあると感じました（演者の練習不足？）。座長の負担は増えますが、質疑応答には日本語を取り入れても良いと思いました。
5. 教員レベルだと英語の方が勉強になるとは思います、若い学生に興味を持ってもらうには少しハードルが

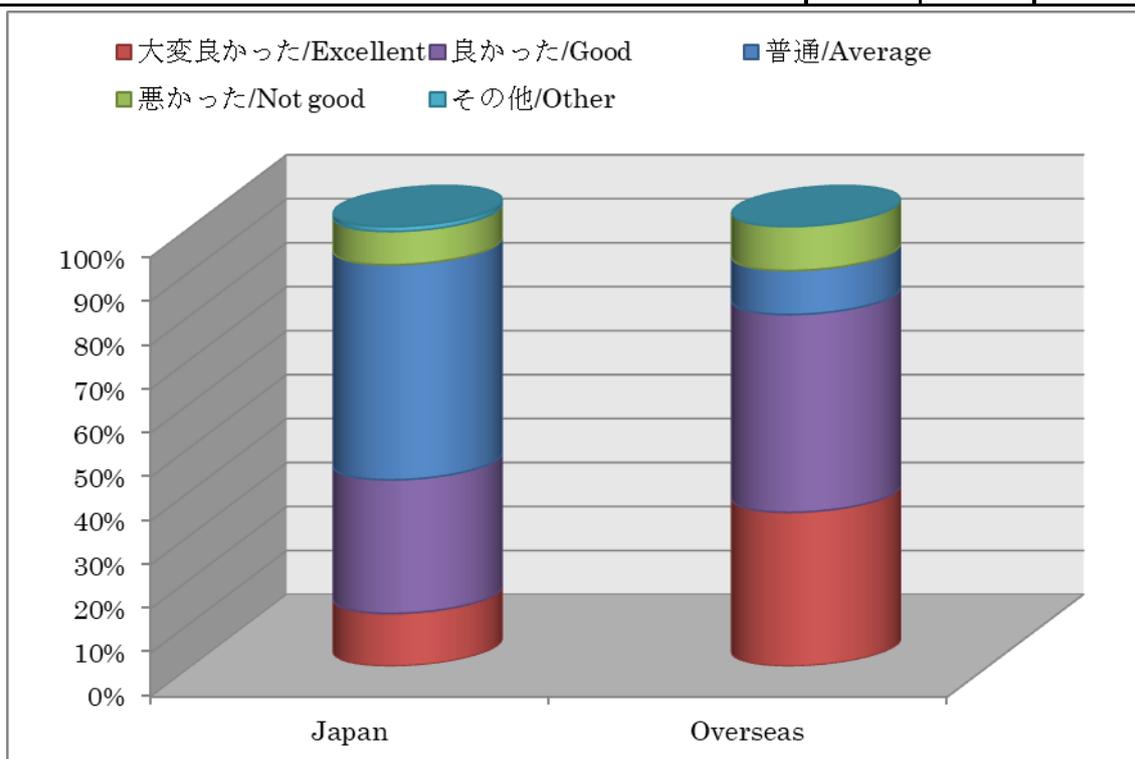
高いかと。

6. 自分自身うまくできたとは思いますが、こういう機会があったほうが良いです（1年に数回冷や汗をかくのが望ましいと思っています）
7. 国際化という面では、間違いなく良かったと思います。一方で、学生の参加者の激減という面については、真摯に受け止め、対策を講じる必要があると思います。
8. ただし、質問がでないのが残念。
9. 今回特に参加者、発表者が少なくなっていることを実感しました。英語化が学生や周辺領域の人たちの参加障壁になり、裾野が狭くなっている様に感じます。選ばれた人たちの大会になっているという印象を受けました。今になって思うのは英語化は得策ではなかったのではないのでしょうか。
10. スライドには日本語を散りばめてほしい。口演は発音の良い人に限定してみてもいいのでは。質疑応答は日本語でも良いのでは。年に一度の学会は重要な情報交換の場でもあるのに、その機会が活かされていない。
11. やはり英語での質疑応答が成り立たないことが多かった。私は2回質問したのですが、明快な回答はなされず、議論が噛み合いませんでした。座長の方は私の質問をよく理解していたみたいで、演者がとんちんかんな回答をするのを苦虫を噛み潰した顔で眺めていました、、、発表の言語については問わないが（本当に大事なのはロジックですから）、質疑応答は演者の力量不足できちんと議論にならないなら（大学院生などの場合はそれでも責められないと思います）、日本語でもOKにした方が議論が深まって良い気もしました。私は大学教員なので、「英語での発表・質疑応答は発表するならできて当然。その前提で発表しろ」という考えには（教育者の立場としては）必ずしも同意できません。良い研究をしている方が多いのに、英語の問題で意思疎通が不十分になるのではあまり意味がない気がします。
12. 日本人も外国人も混ざって発表しているのが良かった。
13. 英語化は必要なので学生にとってもいいとおもう。
14. 他の学会と差別化できた。学生の教育についてはそれぞれのPIが考えて、時代の流れに合わせていくしなないと思います。うちは、修士の学生をつれていくのは動物学会、もちネタが十分に溜まった時にPIだけが参加するのが発生学会と、分けています。
15. 特にネガティブな印象は感じなかった。英語化にはある程度みんな慣れてきていると思う。海外からの参加者・演題も多くて、英語で良かったと思う。若い人が質疑に参加していた点も良かった。
16. 発表を日本語化するか英語化するかの問題は、どの学会も抱えている問題で、しかも日本語化したときの良い点悪い点、英語化したときの良い点悪い点、いずれも議論は出つくしていると思います。その中で、日本発生物学会は、可能な限りの英語化での運営を選んだわけで、そしてその場合に生じる悪い点への対策をずっと模索し続けて、少しずつ対応をよくしているというわけなので、この方向で頑張ってもらいたい。その上で難点をいうと、やっぱり発表に対する質問が少ないと思います。その理由の全てが英語によるものなのかはわかりませんが、もしそうだとしたら、質問が多方面の切り口から出てそれに関する議論が熱心になされる、というのでなければ年会で集まる意味が薄いと思いますので、対応策に取り組んでほしいです。ちなみに、初日の Evolution の部屋の座長(Tamura, Yasuoka, Morino)が、冒頭に「怖がらずに疑問に思ったことはどんどん質問してほしい」と明確に言って始まったのに好感をもちました。（他の部屋のことは知りませんが）。今更いう必要があるのか？と思うような文言ですが、最初に確実にその一言を入れるだけで、その部屋の聴衆の意識は変わるものだと思いますので。初日の最初だけというのではなく、もう少し頻繁に、例えばプレナリーレクチャーの最初とか、日が変わった時とか、Lunchon の最初とかに、いくらかセリフをかえて、しつこくいうのが良いと思います。

17. 日本語で聞きたかったです。
18. 地方大学の修士の学生の発表が難しくなるので、そういう学生が日本語で発表できる枠がやはり必要。
19. いつも言われることだが、議論が盛り上がらない。また、英語化したためか、日本人の学生の人数が少ない。
20. 世界の趨勢です。
21. 英語で発表する能力はもちろん大切だと思いますが、質疑応答が成立していない現状を見ると、スライドは英語で発表言語は日本語という枠があってもいいかと思います。
22. 聞くのがつらいものもあった。チェアは適宜、翻訳や質問の言い換えなどをすべき。海外の一般スピーカーより国内の方が内容はよかった。無理やり海外から選ぶ必要はない。海外からの演者にも英語がひどいのがいた。
23. 近年、特に若手の発表で英語がこなれてきているように感じている。自分も頑張らないといけないという気持ちになる。
24. 国内学会であってもすべてを英語にすることで、海外からも多くの参加者が期待でき、非常に効果的と感じた。ぜひ継続してもらいたいと思いました。
25. It was clear that the presenters had prepared well. Some presenters were a little hard to understand, but usually they had their conclusions nicely written on the slides, so it was possible to follow the logic and interpretation.
26. The effort made by Japanese scientists to present and discuss the work in English makes the work internationally accessible and highlights the excellent quality.

Q8.研究者間の交流環境は十分サポートされていましたか？

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	大変良かった/Excellent	11	12	7	35
2	良かった/Good	28	30.4	9	45
3	普通/Average	45	48.9	2	10
4	悪かった/Not good	7	7.6	2	10
5	その他（ご意見欄にご記入ください）/Other: Please comment	1	1.1	0	0



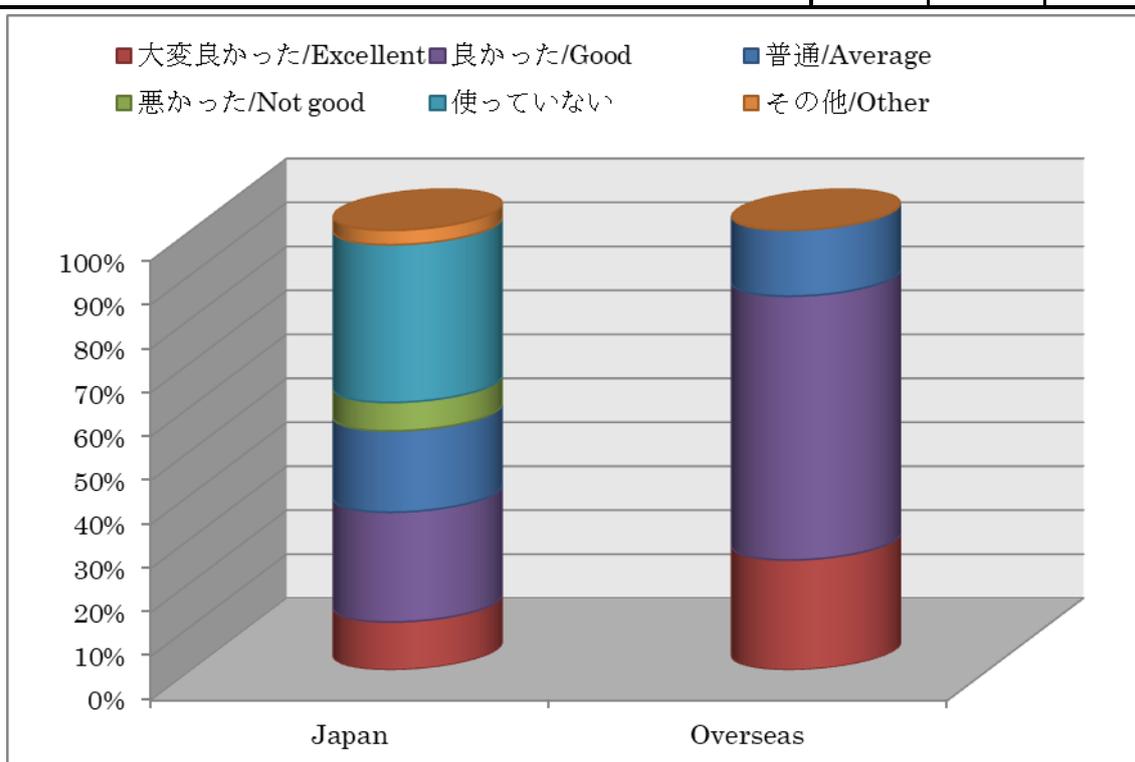
ご意見

1. 休憩室がわかりにくく、案内も少なかった
2. 休憩スペースやディスカッションスペースがなかったのは残念
3. ちょっと話せるスペースがたりなかった。
4. 特にサポートされているとは感じなかった。
5. 海外から(ドイツから?)の発表者のポスターが要旨集になかったのは、大変残念でした(私の誤解?)。やむを得ない事情があったのでしょうか、当日受付で紙ベースで配布するなりできれば良かったと思います。せっかく招待した(?)のに、誰も行かず手持ち無沙汰にしていたのは大変に気の毒で見ていて辛かったです。招待するのなら、交流する仕掛けまで用意するのが失礼のないやり方ではないかと思えます。大会準備のご苦労はお察しした上で申し上げます。
6. 休憩所の場所が分りにくかった。
7. 交流環境については、検討する必要があると思います。どうしたらいいのか.....
8. ロビーのようなスペースが、分かりやすいところにもっと広く用意されているとより良かった。

9. レセプションなどがあり良かった。フリースペースに飲み物があればなお交流しやすいと思う。
10. 座って話せる席をもう少し増やして欲しかった。また会場の大きさにバラツキが大きすぎると思う。今回は大きい会場と小さい会場だけであったが、中間の会場を準備してほしい。
11. Oral presentations and symposiums lasted for the whole morning without break were overwhelming. Also, no break time for networking following presentations was a pity.
12. It was nice that all the events were held in the same building. There was also good space to sit and discuss/network. The refreshment room was good, also the comfortable chairs in the upper hallway.
13. There was no time for discussion, since no coffee or lunch breaks took place.
14. Not enough free time, i.e. coffee breaks, and no common lunches didn't help networking.

Q9. Web abstract book は、いかがでしたか？

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	大変良かった/Excellent	10	10.9	5	25
2	良かった/Good	23	25	12	60
3	普通/Average	17	18.5	3	15
4	悪かった/Not good	6	6.5	0	0
5	使っていない	33	35.9	0	0
6	その他（ご意見欄にご記入ください）/Other: Please comment	3	3.3	0	0



ご意見

1. 私が分かっていないだけかも知れませんが、一括で Abstract をダウンロードしたいと思いました。
2. 今年は Wi-Fi の接続環境が余り良くない印象でした。なので、Web アブストラクトにアクセスし難かったです。
3. 良かったのだけれども、ちょっと使いづらいところもあった。例えば、同じ演題でポスター 2 回口頭 1 回の 3 回分あるのだが、3 つとも ON にしたいときにはいちいち別々にチェックしないといけなくなっていたが、一遍に入力できた方が便利だった。
4. 使いにくかった
5. 会場で参加申し込みをしたところ、学会期間後は Web abstract book にアクセスできず、非常に不便で困っている。一定期間はアクセス可能にするなど、改善を望む。
6. 他の人がつまっているのをちらっとみたが、結局つかわなかった。なぜならアイパット専用ですね。ス

マホだとつかいづらい。めんどくさい。でもあるのはいいと思う。

7. 会場での JSDB Wi-Fi が不十分でネット接続が良く途切れる。閲覧がネット接続に依存するので不便であった。いちどダウンロードしたらネットに依存せずに読めるようにしてほしい。
8. 会場のインターネットがすぐに切れてしまうので、あまり使えませんでした。
9. ページの行き来が少し煩わしく感じるがあった。
10. 使い勝手が悪い印象。
11. Difficult to navigate
12. I wish the program booklet were more in chronological order.

Q10. その他の要望やご意見（会場アクセス、プログラム全般、会場運営、その他）がありましたらご記入ください。

回答者入力

1. レセプションでポスター賞を受賞しても欠席の方がいたことは残念ですので、受賞がわかった段階でその方に連絡を差し上げることはできないのでしょうか。
2. Professor's street は非常に良かった。PI の笑顔での熱弁、それぞれの方が考えた若手に伝えたいことがあり、印象的でした。
3. 一つのセッションが長くて、座長さんがたいへんそうでした。カテゴリーもいろいろなものが混ざっている感じで、一つのセッションで共通の話題というものに発展できていませんでした。
4. ポスターを貼るボードの間隔をもうすこし広くしてほしい。
5. アクセスは今ひとつ。Room A が広すぎた。運営はすばらしい。
6. 発表最後の質問時間には、結論やまとめのスライドで維持することを徹底。質問しやすくなると思われまます。
7. A 会場が広すぎて質問に出づらく、全体として議論が不活発だった。C 会場のように席を立ちやすく、スクリーンも高く大きい会場が理想的。
8. 全般的には良かった。ネットが切れる時間帯があったのが残念。
9. 教授のポスター発表は、興味深い試みだったと思いますが、一方で学会の重鎮たちの仲良しこよしだったようにもみてとれました。学会を盛り上げていくためには、会員歴の長さやポジションにとらわれない、フラットで垣根のない環境が必要だと思います。そうすることで、様々な分野、方面の方々を取り入れて、共同研究が生まれるなど、活気のある大会になるのではないのでしょうか。
10. 学生が少ない印象を受けた。Plenary lecture などは学部生にとっても刺激的な内容と思うので、近隣大学の学部生や大学院生が聴講に来やすいように告知などが出来たら良いと思った。
11. アクセスが良いところだと助かります。出来れば会場の部屋が細かく分散しているところではなく、まとまっていると混乱せずに済むのでありがたいです。
12. レセプションの食事をご当地風に
13. 毎年減っているが、今年の学生参加者の減少は顕著で心配になりました。正確な参加者数はわかりませんが、ポスター賞の対象になっていた学位取得後 5 年以内の参加者のうち、日本人は 20 名ちょっとしかいなかった気がします。口頭発表した学生が数名いるとしても、この人数は本当に危機的状況だと思います。発牛学会で育てて、独立した PI は自分の学生を連れてこの学会に連れて来れない状況になっています。開催時期の再検討を真剣に始めないと手遅れになると思います。
14. Professors' poster のような企画がありますが、あれを一般のポスター発表と同時進行でやることに反対です。ポスター発表者は主に学生が多いはずで、彼ら彼女らの聴衆を奪い取る事になりかねません。企画自体は良いと思うのですが、時間割がよくないと思いました。
15. プログラム集の所属や氏名には平仮名・漢字を併記してほしい。アルファベットだと所属や人が認識しづらい。
16. Q3 と重複するが、口演の合間に小休止をいれるのは必要だと思います（私の知る限り、他の学会や研究会はほぼ例外なくやっています）。時間も長い必要はなく、4-5 演題ごとに 5 分でも良いのです。これだけで、運営側・参加者ともに、心理的な負荷が大きく減り、リラックスして聴きやすくなるはずで

17. 会場も大阪の楽しい場所で大変良かった。サイズも丁度良かった。
18. ポスター賞だが、事前エントリーは今回はじめてだった。たしかに、審査員が数少ないものを審査すればいいので、あるいはやる気のあるひとの分だけ審査すればいい。こう率よいが、ぎりぎりになってけっこういい内容に仕上がった学生などもありえる。なぜなら、特に今回大型連休の後だった。もとより発生は連休の後というのが定番。学生にとっては鬼のような、でも研究だけ考えれば、学会まえに他のどの学会よりも専念できる日程設定。ですから、当日とかにエントリーさせてもらえるようなしくみがあったらよかった。昔発生では、おもしろかったトップ5などを学会誌にのせるしくみがあり、あれはあげまされた。そして研究者になったひともあるので、プロモートのしくみは大切だとおもう。
19. 駅からのアクセスが良く、便利でした。
20. 教授の先生方のポスターとても面白かったです。
21. 会場アクセスは駅から近くて、観光エリアにも近くすごく良かった。Room A が広くて、演題によってはスカスカ感がすごかった。ネット環境が若干弱かったので、もう少しパワーアップを期待します。
22. 今回については参加人数に対して会場が大きすぎたと思う。とはいえこれは事前にそれを予測してベストの会場を探すというのは大変難しいことだとは思いますが、それから、これは今回の年会運営に限らないけれども、年会長が「今回はこういう工夫をして、こういうアイデアでプログラムを組んでいるので、ぜひ参加してほしい」というような、あまり長すぎないぐらいのメッセージを、1ヶ月間隔で3回くらい回覧すると、参加しようかどうか迷っている人への後押しになって良いと思います。(ちなみに、学会長が定期的にメッセージを出しておられますが、それを読むのが私は好きで、そのことで私の本学会への関心は高まりました。)
23. Web abstract book は経費削減には効果があるが、やはり紙版があると便利だと思います。
24. 仕方のないことだが、会場が大阪市内で所在の神戸から毎日往復する必要があり、通勤ラッシュの関係もあって移動だけで疲労を覚えた。
25. プログラムの構成、時間配分、その他すべてについて、一見目立った作為がない一方、素晴らしい配慮がなされていた。
26. 教授ポスターやポスター賞への投票制度は、今後の学会でも継続できたら面白い試みではないかと思いました。発生生物学に興味を持つ学部生や大学院前期の学生が、この分野の大物教授陣と比較的気軽に交流できる教授ポスターは、うまく活用できたら会員数の下げ止めなどにも役立つのではないのでしょうか。
27. WiFi のアクセスが悪く携帯を使っていた。
28. ポスター会場が狭く、移動が大変だった。また業者ブースの場所が小さく、またポスター会場と区別されていたため、あまり業者ブースに行きたくて居る人が少なかったと思う。
29. 教授専用のポスター発表区画を設けるのは、今回で最初で最後にしてはいいのでしょうか。教授であろうがなかろうが、ポスター発表するのなら一会員として申し込みれば良いことです。そうしている(あの10名以外の)教授は何名もいます。その区画に聴衆を奪った形になり、本来のポスター会場で他の方と議論できなかった(議論の機会が限られた)発表者がいたら胸が痛みます。
30. 会場費の問題があると思いますが、会場は駅に近い方がありがたいです。
31. 懇親会の食事がひどかった。あれでは参加者は減る一方なのは。懇親会の収入で収支の帳尻を合わせるのはいいかなものか。会場にフロアマップの掲示が必要。初日はみな右往左往していた。少しでもいいのでスナックを準備してほしい。アマゾンで「イベントお菓子詰め合わせ」を買ったらたかが1 - 2

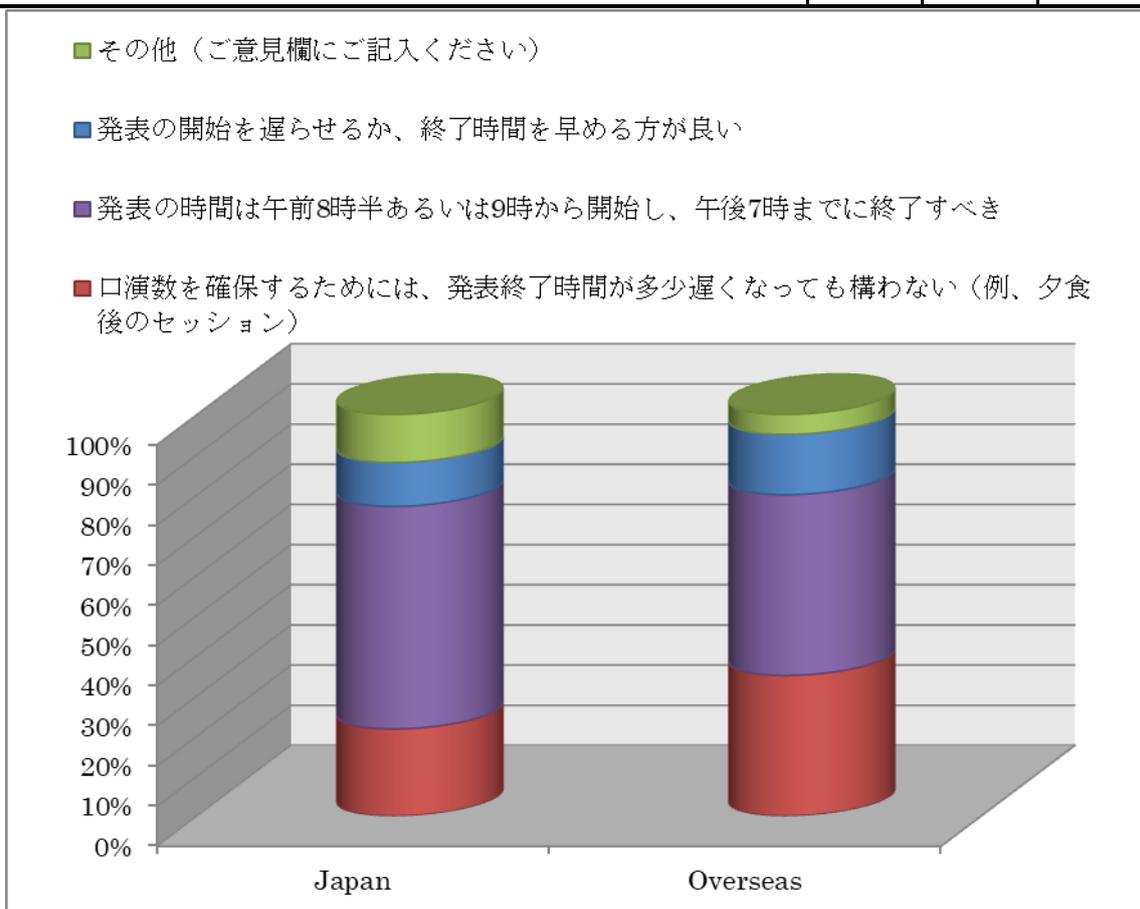
万の投資。

32. Wi-Fi が貧弱で、Web abstract book を見ようとしても接続できないことが多々あったので、もう少し強化してほしい。
33. Wifi 環境がひどかった。近年の学会で、かつ Web Abstract まで採用しているにもかかわらずあの wifi 環境はない。
34. 会場は適当な大きさが良かったがアクセスが少し悪い。レセプションの料理がもう少し充実しても良いのでは。大阪なので通いの方も多かったのでは。開始時間は 30 分ほど遅くても良かった。
35. 聞きたいシンポジウムが並行して行われており、聞けないものが多数あった。やはりシンポジウムは分散して 3 日間で行って欲しい。まとまった内容の発表や挑戦的なものをあつたので全部聞きたいので分散させて欲しい。シンポジウムを最終日に持って来た理由は最終日に帰る人がいるためであったが、初日の人の数が逆に少なかったと思うので、人数を呼び込むためにも分散してほしい。これらかは挑戦的で敷居の低いシンポジウムを、萌芽的シンポジウムと題して若手にやらしてもらえるようにしてほしい。まとまった内容の教育的シンポジウムと萌芽的シンポジウムの半々で良いのではないか？ また無理矢理他国の学会との合同のシンポジウムを開かなくて良いと思う。ねらいが良く分かりません。今回の人数なら大学で行っても良いのではないか？またプレナリーレクチャーを 2 人から 1 人にしてほしい。その分懇親会の料理に寿司をいれるなどもう少し良いものを食べさせてほしい。今回貧相で残念でした。1 万円払ったのにプレナリーの内容が残念で懇親会のメニューが貧相だと精神的なダメージが大きいです。
36. N/A
37. Great venue location, very easy to get to from the airport.
38. There were several talks that I wanted to here but they were at the same time.
39. Excellently organized
40. The meeting was very enjoyable. It was extremely well organized and the venue and access were excellent.
41. Organizers may consider informing the participants about the coffee/tea/water place more obviously.
42. /
43. It would be nice to have a break during a morning section, with coffees and snacks would be very nice.
44. The programme was missing short summary of each session including only speaker an title for better overview.
45. Possibly a brief intermission to break the relatively long sessions would be useful for networking.

以下は、次期大会についての要望をお聞きします。

Q11.学会の時間に関して

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	口演数を確保するためには、発表終了時間が多少遅くなっても構わない(例、夕食後のセッション)	20	21.7	7	35
2	発表の時間は午前 8 時半あるいは 9 時から開始し、午後 7 時まででに終了すべき	51	55.4	9	45
3	発表の開始を遅らせるか、終了時間を早める方が良い	10	10.9	3	15
4	その他(ご意見欄にご記入ください)	11	12	1	5



ご意見

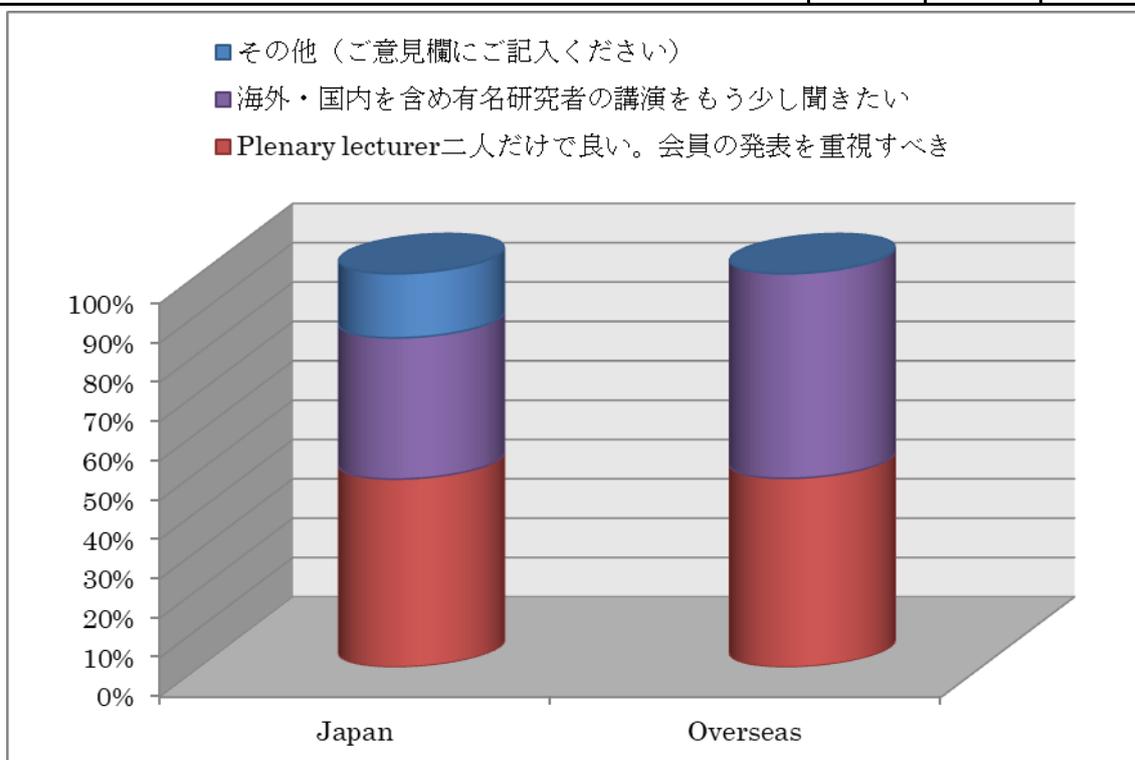
- 8分 Talk2分ディスカッションで6題で一つのセッションも用意したらいいと思う。似たような演題(たとえば gene editing とか Vertebrate development とか、GSC とか。)を集めれば、それぞれがイントロする時間が減らせるので、なんとかなると思います。
- 今回くらいの規模でよいと思います。
- 9時開始で 19:30~20:00 頃までやっても良いと思います。
- 今回のを踏襲すればいいと思う。
- 次回に限っては、北海道開催なので道外からの参加者は必然的に宿泊になるため、終了時間が遅くなって

もかまわない。

6. 夏にしてほしい。学生の発表機会を設けるのに不十分な大会登録締め切り。科研費が決まる前はつらいです
7. 発表時間を延ばすのは準備側・参加者側とも負担が大きいのでやめた方がいいと思います。他方、口頭発表はたくさんの方が良いこともまた当然です。私は day0 のサテライトを担当していたのですが（誰かバれてしまいそうだが、）、今回の大会で昨年に比べて一番変化を感じたのはここだと思っています。英語の口頭発表に漏れたひとに回ってもらった経緯があるわけですが、発表の内容は素晴らしいものが多くて良かったです（選外になったのは、内容がセッションの趣旨にあまり合わなかっただけだと思いました）。ですから、day0 のサテライトワークショップをもっと拡張し、こちらで口頭発表をしてもらえる方を増やせば、大会の時間はとくに拡張しなくても、口演数を増やせるのではないのでしょうか。SW は今回は 2 会場で行いましたが、時間を延ばす or もう一部屋を追加するなどを検討してはどうでしょうか？
以上、コメントとして参考になれば幸いです。
8. いずれの会場も空きが目立っていましたので、小さい会場を増やして発表者を増やすのはどうでしょうか。
9. 今回の時間帯でちょうどだと思えます。8 時半だと人の集まりが悪いかもしれません
10. 熊本のことも次回の会場の立地についても詳しくないので、よくわかりません。
11. 今回の学会運営は、特に時間配分に関して、バランスが良かった。参考になると思う。
12. day0 のサテライト（日本語）を中止し、この時間帯も通常の英語による口頭発表にすれば、口演数を確保できるのではないか。
13. 今回の時間帯がちょうどよかったと思えます。
14. 研究者が交流できる時間が日中にもあるといいのですが、どのようにしたらいいのかわかりません。
15. The current structure is excellent.

Q12.招待講演者、Symposium 講演者に関して

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	Plenary lecturer 二人だけで良い。会員の発表を重視すべき	44	47.8	10	48
2	海外・国内を含め有名研究者の講演をもう少し聞きたい	33	35.9	11	52
3	その他（ご意見欄にご記入ください）	15	16.3	0	



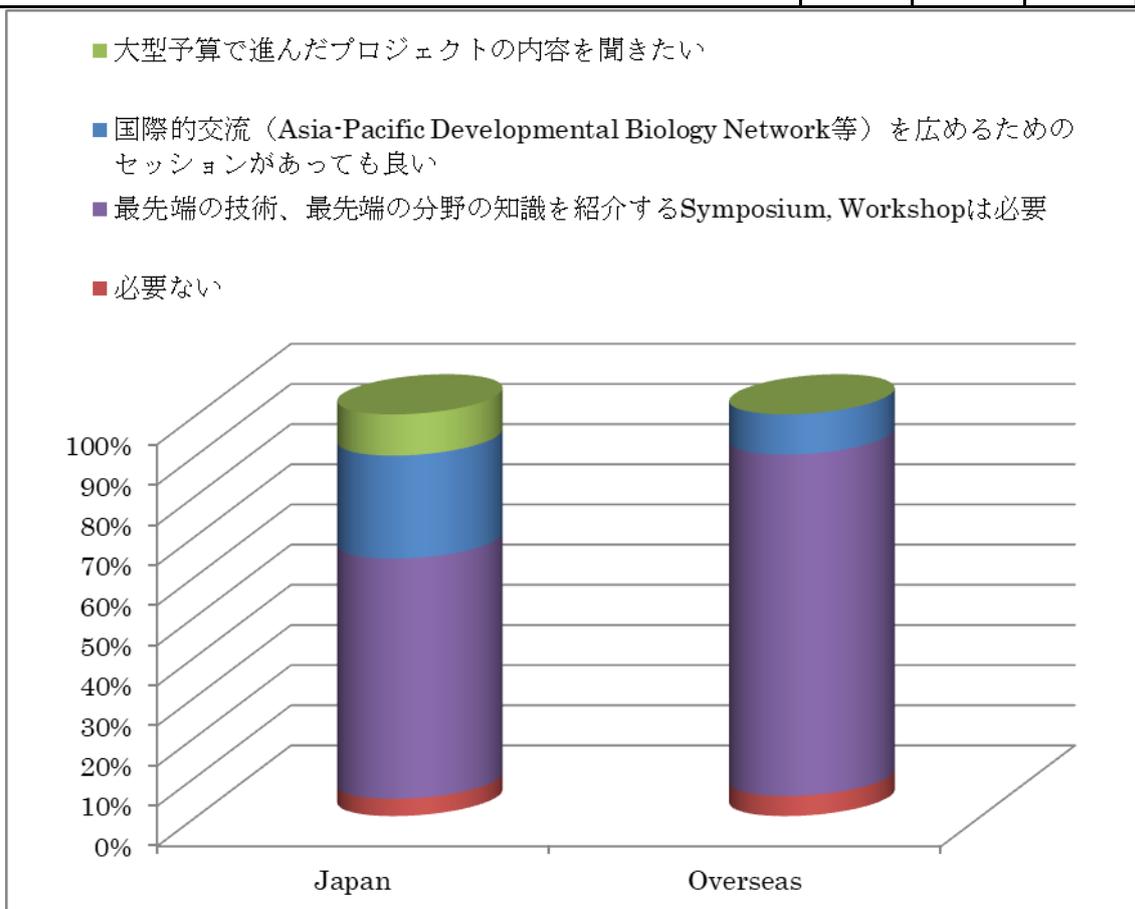
ご意見

1. 外の演者も多少発生学全般にわたるイントロダクションをいれてもらいたいが。
2. プレナリーレクチャーは1人でよいのでは、と思いましたが。その分、oralを増やすとか、
3. Plenary lecturer は一人でもいいかな。
4. 海外の人のいい話はやはり聞きたい。国内は別にいらぬ。
5. 有力な雑誌（例えば3大誌やDev. Cellなど）のeditorを読んで、日本の研究を知ってもらうなどしても良いのではないかと。最近海外のクローズドの学会に参加したが、editorが何人か来て、研究者と直接話していた。
6. とくに意見はないが、どうもノーベル賞受賞者の発表はわかりにくく、、、いえ、高度すぎてついていけないことが多いです（周りも寝ている方が多かったです）。ノーベル賞をもらった方のplenary lectureはこれまで3例ほど拝聴しましたが、毎回その印象をもってしまいます、、、
7. プレナリ無くても良いくらいです。
8. 学会員ではない招待講演者とSymposium講演者が、発表後、発生学会に定期的に参加するようになったのかなど、学会の発展にどの程度繋がっているのか気になります。
9. 流行りの分野の一応勉強として招待講演者やシンポジウムがあっても良いかと思いました。

10. 全体のプログラムを同組たいか、ということで決まることなので、部分を最適化しても仕方がないと思います。その上で、Plenary lecture を実施するなら、もっと質問時間をとり、さまざまな議論が行われるように工夫すべきだと思います。特段に変わったことをする必要はなく、講演者の選び方、レクチャーの時間の時間帯の配置、当日の質問の促し方などにスキがないことが大事なのだと思います。
11. 今回の大会のバランスでちょうどよかったと思う。
12. 学会主催者が、どのような学会にしたいかに、大きく依存する。
13. 会員の発表は大事。プレナリー二名までは必ずしも必要ない。
14. 人数が少ないのは良いと思うが、どういった方に発表してもらうか、選択が難しいと思う。
15. しかし海外は、新進気鋭の若手のみで十分。
16. その時々状況に合わせるのが良いと思います。
17. plenary はもう少し現役に近い方で選ばれた方が良いと思います。また、symposium などでは最新の研究成果などが聞けるような内容が良い。特に発生に縛られる内容出なくても発生に近い内容で新しい技術を応用したものでも良いように思います。そういう意味では風間さんの発表などはランチョンではなく、シンポジウムに値する、と思いました。質疑の時間が短くて残念。
18. プレナリーレクチャーを 2 人から 1 人にしてほしい。その分懇親会の料理に寿司をいれるなどもう少し良いものを食べさせてほしい。何故 2 人必要なのか真剣に考える段階だと思います。

Q13.Symposium に関して（複数回答可）

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	必要ない	5		1	
2	最先端の技術、最先端の分野の知識を紹介する Symposium, Workshop は必要	70		17	
3	国際的交流（Asia-Pacific Developmental Biology Network 等）を広めるためのセッションがあっても良い	30		2	
4	大型予算で進んだプロジェクトの内容を聞きたい	12		0	
5	その他（ご意見欄にご記入ください）	11		0	



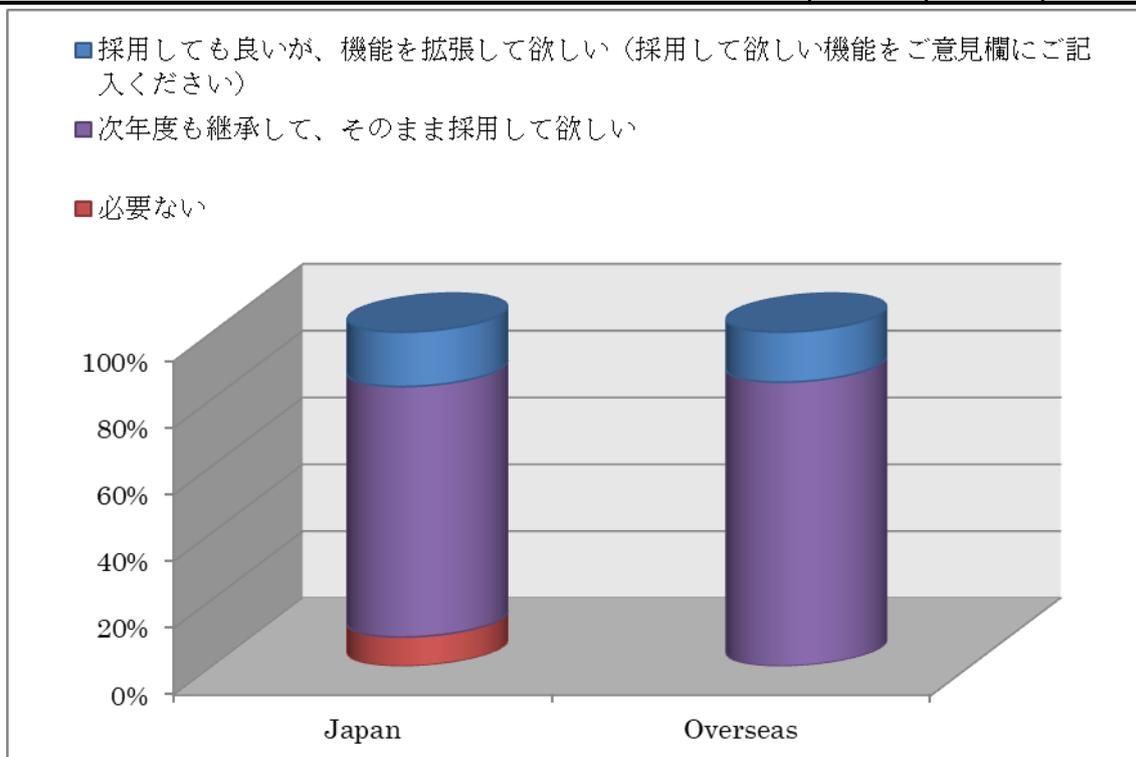
ご意見

1. 一般演題とあまり差がない人もいる。
2. 大型予算で進んだプロジェクトの内容は知らない。
3. "発生学会"というすでに狭い領域の学会なので、セッション分けで十分だと思われます。ただ、運営委員の先生方のような著名な研究者の発表セッションを Plenary 的に一つ設けていただけると、研究の進め方、プレゼンの仕方等々、若手を含めかなり多くの研究者のためになると思われます。
4. それぞれのセッションがやや長いように感じた。
5. あるテーマに沿って、シンポジウムを設定するのは良いことだと思います。

6. 現状の形でよいと思えました。今回の学会は、内容も面白いし、発生学のトレンドがなにか（形づくりやモデリング、網羅的解析など）が自然とわかるような構成になっていて勉強になり、来年もまた行きたいと思える内容でした。
7. シンポジウムと一般演題の差をあまり感じなかった。一般演題に良い内容の発表があり、シンポジウムで一般演題と変わらないような発表も。そうすると、どちらでもいいのかなど。本来は、発表時間の長さだけではないはずだが。
8. (必ずしも最先端である必要はなく)ユニークで面白い発表を聞きたい。
9. テーマを設定したシンポジウムはあった方が良いがセッション数は2つに絞って会場が賑わうようにしたい。
10. ZEISS のランチョンは痺れました。ピッタリの演者をお呼びになりましたね。
11. 大会長の好みや判断に任せれば良い。大会ごとにスタイルを変えても良いと思う。
12. 大会長が学会員に知ってもらいたいと思う最新の分野などがあれば、行っても良いが、基本的には必要ないと思います。プログラム委員は大変かと思いますが、一般の口頭発表の中から、優れた研究に長時間の発表をする機会を与えられるようにしたほうが良いと思います。
13. 特になし
14. 今回、symposium の特徴があまり出ていなかったように思います。なかなか公に聞く機会がないので、大型予算で進んでいるまとまった研究内容（進んでいなくても）があれば良い。
15. これらかは挑戦的で敷居の低いシンポジウムを、萌芽的シンポジウムと題して若手にやらしてもらえようにしてほしい。まとまった内容の教育的シンポジウムと萌芽的シンポジウムの半々で良いのではないか？ また無理矢理他国の学会との合同のシンポジウムを開かなくて良いと思う。ねらいが良く分かりません。シンポジウムを3日間に分散させてほしい。1日だけだと聞きたいセッションが並行して行われており行けない。
16. and also Sessions introducing details of large-scale funded projects

Q14. Web abstract book に関して

No	選択肢	回答数	Japan	回答数	Overseas
1	必要ない	8	8.7	0	0
2	次年度も継承して、そのまま採用して欲しい	69	75	17	85
3	採用しても良いが、機能を拡張して欲しい（採用して欲しい機能をご意見欄にご記入ください）	15	16.3	3	15



ご意見

1. パスワードを入力してもうまくアクセスできなくなってしまった。システムは変えたほうがよろしいかと。
2. シンプルな縮小方向で良いかと思えます。スマホで abstract とプログラムが検索できれば十分。
3. 50 回大会のときにはアプリがあったが、その後なくなってしまった。個人的にはアプリが使いやすくてよかった（ブラウザだといちいちパスワード入力を求められて億劫だった）。
4. 上記に書いた通り、同じ演題は、ポスターや口頭が何回あろうと、1 演題として扱ってもらえるとわかりやすい。
5. 冊子の方が分厚くならなくて良いので、継続してほしい。
6. 閲覧できる期間を延ばしてほしい。
7. 会場の wifi 環境が悪く、ページ遷移速度が非常に遅かったです。そこが律速となってウェブアプリが使いにくかったです。
8. 会場のネット環境が弱いとその場で使えなくてもったいない。
9. 聞きたいと思った演題・ポスターについて自分用のスケジュールを造れるような機能があるとよいです。
10. 発表会場によって進行がバラバラなので、現在どの発表者が発表中なのかを表示する機能などがあれば大

変助かと思う。

11. 会場での JSDB Wi-Fi が不十分でネット接続が良く途切れる。閲覧がネット接続に依存するので不便であった。いちどダウンロードしたらネットに依存せずに読めるようにしてほしい。
12. 本当は冊子が好き
13. 予定表作り。
14. ログイン ID とパスワードをつい忘れてしまうので、参加証に印字してほしい。
15. App 化して、より機能的にすべき
16. 使用しなかったのですが、あったほうが良いと思います。
17. もう少し使いやすくしてほしい。
18. 使っている人数と費用対効果を毎年チェックすべき。実はいらぬのではないか。安くあがるようにしてほしい。
19. I did not use web abstract book, I purchased a paper booklet. I prefer paper as I find it more easily accessible.
20. I wouldn't like to use it again